

デジタルデザインコンテスト 審査要項

2024 年 4 月策定

デジタルデザインコンテスト運営事務局

1 審査会

審査会長

村岡 マサヒロ（漫画家）

審査員

SIBATO（イラストレーター）

藤田 文明（株式会社オルトプラス高知 代表取締役）

吉岡 一洋（高知大学地域協働学部 教授）

栗原 徹（高知工科大学情報学群 教授）

2 実施時期

募集期間 令和6年9月1日（日）～令和6年12月23日（月）

一次選考 令和6年12月24日（火）

二次選考 一次選考終了後～令和7年1月19日（日）

最終選考 令和7年2月4日（火）

受賞発表 令和7年2月7日（金）

表彰式 令和7年2月15日（土）

3 各賞について

- ・グランプリ（賞金 30 万円） 各部門 1 点
- ・準グランプリ（賞金 10 万円） 各部門 1 点
- ・特別賞（賞金 5 万円） 両部門通じて 4 点まで

※応募作品が審査基準に満たないなどの理由により、該当作品がない場合もあります。

4 評価基準

（1）グランプリ、準グランプリ

技術力・企画力・表現力・テーマ性を主な評価基準とする。

ア、技術力

- 例「作品に合わせ、デジタルならではのテクニックやツールを活かしている」
- 「構図やパースが効果的に使用されている」
- 「パースに狂いが無い」
- 「人体や動物の描写に狂いが無い」
- 「質感や陰影などが効果的に表現されている」
- 「映像・台詞・音響が作品の世界観と調和している（アニメーション部門）」

イ、企画力

- 例「発想に新鮮さや斬新さがある」
- 「力や心を感じさせる企画である」

ウ、表現力

- 例「興味を引き付け、見た人に共感を与える」
- 「説得力のある表現や演出を用いている」
- 「作品からストーリーが伝わる」

エ、テーマ性

- 例「テーマを理解し、作品に反映している」
- 「テーマに関して作者の表現したいことが明確である」

（２）特別賞

“未来の高知のデザイナー”として、今後の成長が見込まれる若手人材による作品であることを、作品と応募用紙への記入事項をもとに総合的に評価する。

５ 審査方法

（１）一次選考 １２月２４日

- ・審査：主催機関（YAMAKIN 株式会社）による。
- ・応募資格や応募要件を満たさないもの、公序良俗に反する表現や他人に不快感を与える表現など、不適切なものと判断したものは審査の対象から除外する。
- ・「技術力」「企画力」「表現力」「テーマ性」、それ以外の評価基準は「その他」とし、五段階で評価する。
- ・グランプリ、準グランプリ候補…上記の総合点をもとに、協議により各部門 20～30 作品程度を選出する。
- ・特別賞候補…賞の趣旨にふさわしいかどうかを評価し、協議により両部門通じて 10 作品程度を選出する。

（２）二次選考 一次選考終了後～１月１９日

- ・審査：村岡審査会長、SIBATO 審査員、藤田審査員、吉岡審査員、栗原審査員による。
- ・各審査員は、一次選考で選出した作品を『オンライン審査システム』上で評価する。

- ・技術力・企画力・表現力・テーマ性、それ以外の評価基準は「その他」とし、五段階で評価する。

- ・主催機関は、上記の総合得点をもとに、各部門の上位 10～20 作品を選出する。

(3) 最終選考 2月4日

- ・審査：審査会による

- ・グランプリ、準グランプリ…各審査員は、二次選考で選出した上位 10～20 作品から、グランプリ、準グランプリにふさわしいと思う作品に投票する。得票数と審査会の協議により、グランプリ、準グランプリを決定する。

- ・特別賞…一次選考での結果をもとに、本コンテストのプロジェクトメンバーが協議を行う。両部門通じて 4 作品選出ののち、審査会の承認を得て決定する。

- ・最終選考終了後、選定結果報告をもとに、運営事務局において受賞作品を公表する。

6 最終結果発表・表彰式

- ・受賞発表は、令和 7 年 2 月 7 日（金）に、デジタルデザインコンテスト特設ウェブサイト (<https://www.yamakin-gold.co.jp/digital-contests/>) で行う。

- ・受賞作品は、令和 7 年 2 月 15 日（土）～2 月 28 日（金）の期間、オーテピア 2 階で展示する。

- ・表彰式は、令和 7 年 2 月 15 日（土）に、受賞者を招いてオーテピア 4 階ホールで開催する。受賞作品に対する審査員からの講評も併せて行う。

7 その他

- ・一連の審査過程、得点等は公開・公表しない。